

平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基 本 目 標 1 健やかな暮らしを支え、安全で快適に暮らせるはつかいち
政 策 目 標 5 多様な暮らしが選べ、快適に暮らせるまちに
重 点 的 取 組 2 多様な地域特性を生かした交流・定住を進める

担当課名		分権政策部 経営政策課
予 算	会 計	01 一般会計
算 款	02	総務費
科 項	01	総務管理費
目 目	06	企画費

事業名	定住推進事業	事業開始年度	平成 19 年度
	各種制度活用による定住の推進（外部人材（地域支援員）の活用等）	根拠法令 条例 個別計画 等	過疎地域自立促進計画、廿日市市地域支援員推進事業実施要綱、空き家バンク活用促進事業補助金交付要綱

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	過疎地域等の市民	住み慣れた場所（地域）で明るく元気な生活が続けられる。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	支援機関（コミュニティ団体）	・地域支援員の募集、委嘱、調整及び活動支援 ・空き家バンクの登録事務 ・空き家バンク活用促進事業補助金交付事務

3 平成 25 年度 予算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

活動内容

○地域支援員の派遣

人口減少や高齢化等の著しい過疎・中山間地域等に地域支援員を派遣し、地域点検及び地域での話し合いの促進、地域行事、コミュニティ活動、その他地域おこしの支援及び地域力の維持・強化に資するために必要な活動を行わせることで、住み慣れた地域での生活を支援する。

平成23年8月吉和地域に地域支援員1名を派遣。平成25年度から同じく中山間地域の課題を抱える佐伯地域に地域支援員1名を派遣する。

○地域サポート人ネットワークへの参加

過疎集落の活性化、維持再生へ向けた取組みを行うため、「情報の共有・意見交換」、「研修の実施・研修機会の創出」、「将来の人材活用や条件整備へ向けての政策提言」に取組む地域サポート人ネットワークに参加する。

○空き家バンク活用促進事業補助金制度の創設

空き家バンクへの物件登録と子育て世代を中心とした世帯の定住を促進することを目的として、空き家バンクに登録された空き家を改修する場合に補助金を交付する(市街化区域を除く)。

【歳入】

1,000千円

過疎対策事業債

1,000千円

【歳出】

7,439千円

報償費

3,358千円

地域支援員推進事業委託料

1,915千円

旅費・高速道路通行料

145千円

事務費(役務費)

3千円

一般負担金

10千円

研修負担金

8千円

空き家バンク活用促進事業補助金

2,000千円

@159,900×12月×1人+@159,900×9月×1人

<過疎地域自立促進特別事業債対象 吉和:1,064千円

地域サポート人ネットワーク全国大会・役員会等

地域サポート人ネットワーク全国協議会(幹事)

地域支援員等研修

空き家バンク登録物件の改修助成

コスト情報(円)

項目		平成23年度決算	平成24年度予算	平成25年度予算	
財源内訳	直接事業費A	1,718,739	3,193,000	7,439,000	
	国庫支出金				
	県支出金				
	借入金(市債)		800,000	1,000,000	
	その他(使用料など)				
	市(市税など)	1,718,739	2,393,000	6,439,000	
人件費(按分)B		0.10人 884,900	0.10人 885,700	0.20人 1,750,400	
総事業費(A+B)		2,603,639	4,078,700	11,982,000	
単位換算	①人口(4月1日現在)	118,353人	118,353人	118,000人	
	市民1人当たり	22	34	102	
	②				
		0	0	0	

到達目標

活動及び成果指標		単位	H23実績値	H24目標値	H25目標値	H27目標値	備考
活動	地域支援員の数	人	1	1	2	3	
	解決した課題数	件	-	1	3	4	